





上目錄

卷一

卷二

卷三

卷四

卷五

卷六

卷七

卷八

卷九

卷十

卷十一

卷十二

卷十三

卷十四

卷十五

卷一

卷二

卷三

卷四

卷五

卷六

卷七

卷八

卷九

卷十

卷十一

卷十二

卷十三

卷十四

卷十五

卷一

卷二

卷三

卷四

卷五

卷六

卷七

卷八

卷九

卷十

卷十一

卷十二

卷十三

卷十四

卷十五

養血湯方卷之上

一漢更損

●養血湯

腎虛起ノ頭痛ニ項痛ニハタ腰膝痛

水第三養血ノ汗ナク

ノ六七 婦人アルヲハ婦人表裏トス

大牛ノ乳ヲ入前ノアツタ頻ニ

與テ物ヲホナキセイトノハツム

ヤツミノ行ヲ出スヘシ

養血湯ノ項痛ニハタ腰膝痛タルヲ

養血ノ汗白出ルハ必其味津液ナ

ク起テ傷風ノ表證トス

解肌湯 桂芍薬ニ上

ノ十カシニセテ下ヨコニ物ヲ

十世風アヒカスヤツニスヘシ

今更ニシヤ

卷之四

3

卷之四

教書中興

頭出

大

子安

卷之六

卷之三

...

卷之七

卷之二十一

中耳 汗下し腫痛 三才

卷之六

子行

平定回疆方略卷一百一十五

卷之四

楊柳青青江水平
聞郎江上踏歌聲
東邊日出西邊雨
道是無晴卻有晴
橫看成嶂側成峰
遠上寒山石徑斜
白雲生處有人家
停車坐愛楓林晚
霜葉紅於二月花
碧玉妝成一樹高
不知何處去尋春
借問酒家何處有
牧童遙指杏花村
遠上寒山石徑斜
白雲生處有人家
停車坐愛楓林晚
霜葉紅於二月花

壯
太
陽
病
解
經
卷
之
一

十夕白鷺タルブトムヘカサス金六

中世

本長年裏，在學場上，

卷之四

...

和明之龍汗多第廿六

大

上

卷之十一

十

下世無上揚天知本

卷之四

請本堂自可！

大甲

卷之四

卷之四

也候へし

● 痢病門

飯三膳中痛三番ク
飲食ニツラシ
しあり

主六右ノ腹ニカアテテ少動數
二三九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

二三六九倍
二三六九倍

調中湯 貴 中 參 小 木 小 白 芍

桂 枝 湯 桂 枝 芍 藥 此 分 二 三 二 芍

散 參 小 貴 小 栝 中 芍 中 芍 小 芍

後 三 六 白 前 十 二 二 芍

本 人 腹 痛 太 子 芍 藥 湯 芍 藥

大 芍 中 連 芍 芍 貴 小 芍 中 芍

分 二 三 三 四 日 治 芍 建 肝 散 芍

九 十 十 芍 芍 芍 又 八 二 聖 圓 芍 月

上 連 小 栝 中 二 味 細 末 芍 芍 芍

老人 腹 人 怯 弱 小 兒 十 十 父 痢

痛 十 十 不 食 芍 腹 或 八 促 伏 或

ハ 死 ス

セ 力 芍 小 便 所 ノ ニ 水 ヒ ス ル ハ 死 ス 足

冷 ア 攻 急 ニ ヒ エ ア カ リ 腹 甚 寒 止

ハ 死 ス

成 ハ 食 物 ニ ア フ ラ 或 時 ノ 渴 邪 ニ

多 有 散 二 芍 芍 芍 芍 芍

調 中 湯 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

胃 中 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍 芍

建中湯 叔和實中末 小青
小耳此合用ハ何ト云フ
トてラトモ 桐子鹽栗ノ類用

月名 三ツリ 煩渴ノ油 瀉ノ小
使 瀉リハ 清熱 瀉 連 林
本 葛 天 大 通 草 中

腹ノ心アツテ食物トロケス其
タリ 痰アラハ平胃散ヲ用
小 青 中 末 小 草 叔 和 少 加 テ 日

此藥ニテ腹ハヤラシトモ
リ子食物ハコク消スレトモ 瀉スル
心有ハ 麥 小 貴 小 草 少 白 芍 中 和 極

平風ヲモキ寒ニツカサレ甚咳セハ
減胃門ニ屬ノ發散ヲ尊ニ肺中
ノ邪氣ヲレリシテ 燥 乾 ツケルホシ
サス時ハ即愈也痰涎多ハ痰涎
ヲ去ベシ

發散スル藥ニ分葛 黃 芩 蘇 肺 中
ノ邪ヲレリソケルニハ 桑 葉 前 桂
枝 ツケルホスニハ 門 枯 薑 杏 肺 乾

痰 愈 ス ノ 聲 啞 胸 ツレ ツ 痰 涎 多
ク 枯 乾 肺 ノ 元 氣 ツ 補 ヘ 上 氣
オケ 滯 氣 ツ 流 通 シ 表 虛 ノ 人

トスレ肺ノ元氣ヲ補ニ 門 大
枯 乾 ツ 麥 小 草 少 白 芍 中 和 極
合 乾

交り肺ノ發熱ト成物也年南星

桑毒之類也

サテ諸病ニ咳嗽出來スル物也其本

痛ヲ治ス其藥ノ内へ實痛ナラハ桑

平換四ツ加ヘシ應證ナラハ根乾

根ヲ加ヘシイツニ生姜二片入

持病ニ咳アル人養生ニ灸ヲソマハ

肺俞ヲサスヘシ脊第三ノ椎ノ下

兩旁各一寸五分ツノケテ也

盲ノ穴最好又從太椎下第

灸一所年壯倍數ノ妙灸也

●水腫門

水腫ハ目ノ下より少腹初ル也次第三

足ニ腫ヲ生ヨリ後ハ腹滿

ニツニアカシク發熱物也

其腹實證ニツ食飲カタノ如クエハ

御功湯 附子湯 連中湯

外 霍亂中 日大 以上此類ニ

小便ヲ通ジ手足強直ノ腹氣ニ

カハ人參湯 麥冬湯 黃小

其小 白芍 此類ヲ用テ

脾胃也通藥計ヲ用レハ必中焦虛

ノ當座腹氣ニケトモ一兩日通テ

テ現腹氣サス物也又補中藥ヲ

用シハ中焦ニ氣ツカエ宿食滯テ

中下ノ二焦熱化流通ノ氣ナク

ノ腹脹ノ心出來ル也然則通藥

補藥見ハカテ用ベキコト肝要也

氣裏ニ入ト知レ胆腫湯 知

實ハ小蘇 中藥ノ之類ヲ用ヘ

多上ニ腫氣ヲ入ル 本中大腹皮

實ハ小蘇 小多下ニ腫氣ヲ入

知小蘇 中藥ノ通 小蘇

腹腫腫ニ腫氣ヲ入クハ 中

青ハ奴 中藥ノ 右熱此

加減ノ水腫ヲ治シ二日三日二

日マ中ノ藥ヲカクハ 中

參小蘇 中藥ノ 縮目之

類也

切皮ヨリ腫テ腰膝ニハレノボリヘノコ

腫ハ腎虛スルニヨリ水ヲヒツツク

世ス亂レテ下焦腫タレ也此時ハ

目ヲ腫レ水ヲ流通シ中焦ニ升

降ス氣ヲアラシメヨ

百地苓膝道巨水榮升

後品而上牛ノ三ノ腫氣ノ通

經ハ下焦ノ水氣升テ肺中呼吸

之路ヲカス體也其時ハ肺氣ヲ

順流シ上焦ノ氣ヲ去セ 最

貴野苓地膝目ノ類也

水腫ヨリ足ノ白ク足ノウラニ段腫

成腫ニニセマ 腫タリタリニ段

其時ハ上焦ノ氣ヲ去セ 最

七足死ス

水腫ニヨリ腫氣ノ通 食物等



卷之四

又三鞭之補油十丁丹裏流

三魂之辨治トテ丹溪流云三魂
過ノ積ハ脾氣尙薄ノ積積トス
貴^ホ_ホ^ホ_ホ 肝^ホ 脾^ホ 中^ホ 少^ホ 衛^ホ 之類
在^ホ 道^ホ 積^ホ ハ 瘀^ホ 血^ホ ノ 精^ホ 魂^ホ トナシ
我^ホ 胃^ホ 中^ホ 之類^ホ 右^ホ 道^ホ ノ 魂^ホ 魄^ホ ハ
食^ホ 積^ホ ト心得^ホ 下^ホ 於^ホ 血^ホ 中^ホ 起^ホ 貴^ホ

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

痰之類
痰之類
痰之類

藥ニ加味ノ用ヘレ

婦人ノ胎前ニ塊硬有テ痛次第々

ニ大ニ成胎ノカタヘマハリ痛ムヲハ

本經爲赤ノ血塊トス

小腹ニアテハ赤中流小赤紅

小塊中壯小赤中吐瀉ニアテ

ハ青中赤中赤中紅中

正小流小赤中

腰ニアテハ赤中流小赤紅中

本小塊中赤中

右此類ノ藥ヲノミセ時々塊痛ノ

所ニ艾灸セヨ其灸セテ前後二兩

日ハ藥中ニ桂中赤中紅中

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

中加之用ニ血塊ヲ治スルニモ

フ節々々スヘニ是治積所是ノ

完口傳也

連々過瀉之人腹中ニ酒糟アツテ

相人ナラハキ

我々腹中此類ニテ可治之

瘕アツテ腹ヲクルニバ求貴

奴中ヲ加

張漢門

大腹瀉之病因ハ脾胃虛ノ食物ヲ

清レカ子テ中氣虛弱ニテ清

氣ヲ升降運行スルコト遲滞レ中

焦ニタタハツレテ漸ニ膿瀉出來

ス也

心腹壯脇ノ皮ツヨク是腹ツセ大鼓

何モナク空虚ナルハ腹セ大便秘

ヲ瀉ス腹瀉トス是ハ煎藥ニテツ

ク汗ヲ出シ小便ヲ通スヘニ補中

消積湯 芍中 黃中 木中 苓中

又其間ニ補藥ヲ用

我中丸 木中 麥中 木中 苓中

用テ其上ニ煎藥物ヲ煉

腹ノ皮ツレホトヒツハラチトモ腹

腹大ヲ按テ六石ノ如ク底堅

ク痛ニ大便秘結ノ小便黃赤成ハ

瀉ナリ實證トス是ハ前藥ニテ

瀉氣ヲタツレテ實證ヲ

實中 苓中 扶中 連中

此分ヲ常ニ用テモ大便秘結セ

六

諸硬物其味ノ物其草ヲサヘ用サ

ルツアエキ物ハ中滿セシムハ也
後充ハ九推ノ下兩傍一寸二分

肝俞五十壯脾俞百壯胃十三
推ノ旁三焦俞百壯ツク灸スヘシ

麻痺

又及来ノ年ハ大陰濕土ノ司天也若

濕土太過ニノ同類相感ノ中焦

ヲカカレ脾胃ニ濕邪甚ノ腹滿ノ

病世上ニハヤラハ陰濕湯ヲ中焦

中焦連ノ實也

應ノ右此類ニテ邪濕ヲ退ケテ

見テ未退大實ヲ加テ一兩

日用テ服氣タツロカバ水中連小

治スヘシ是ハ運氣考テ病ヲ治

ス凡口得也是ハ豆末ノ麤蜜廿々

ル時ノ事也

虛心苦寒成物ヲタタ事高也

ア事濟事能滿等事可思之

●吐瀉

未主焦ト云ハ水穀之道呼吸出入

之路也故上焦ハ水穀又收入ス

ル役者也中焦ハ上焦ヨリ收入

セル水穀ヲ消化シ其ノ干ヤカニクハ

之ヲ物ヲ榮衛トナシテ藏府ニ

分散シ外ハ膚腠ヲヤレナニ内ハ

七神ヲ守持ス其カストルヲバ

大小腸ノ傳送ル也三陽ノ終ニ

テカスヲハ廣腸肛門ヘ送りシ

ルツハ膀胱（傳ル也此カストシル
トツ分別ノニ便ヲ咽通スル役
者ヲ下焦ト云也

憂愁思慮ヲ過シ心ヲ乱レシ
ス其氣血中ニ滯滞シ咽流セス

ノ上焦ニツカヘテアリ

胃肝ニテ消化シタル水穀ノ精華

ニ身ノ表裏ニ流通ス表也ツレ

ツ津液ト云也其津液モヒトリハ

スミズ元氣腹カツレテヌクラス

也故氣上焦ニ滯滞シ胸脇ニツカ

ユル則ハカノ津液モ上焦ニ滯リ

胸中ニツカヘテ痰ト成也

然ハ肺氣ト鬱痰ト咽下膈上ニツ

カ子嘔吐ス是ヲ嘔ト云カノ氣

滯腹胸下膈間ニツカユル時ハ飲食

少収今ノ嘔アツア吐逆吐逆セリト

モ胸中ニテ鬱滯不快也是ヲ膈

ト云カノ痰ト氣ト胸脇ニツカ

子トモ胃氣鬱カノニ膈ヘ逆下

スルトラスノ或半日或一日ノト

ロクメノ食物ヲ吐逆必大便堅

ニ涎沫ヲ多ク吐出ス是ヲ翻胃

ト云下焦ノ津液枯燥テ大便小

ロメク也平生ハ水穀ノ精華三焦

ヲ充ルル一身ヲ潤澤ス今ハ其

津液不潤咽行トツカヘン涎沫

ト成テ吐逆スル也故ニ身熱

ノチリトルガ如シ

故ニ食下諸トハ胸膈ノ邪火ヲ清シ

上焦ノ熱ヲ順流シ痰飲ヲ止

リシテ三焦ヲ潤スヘシ快膈湯通

胸膈中焦中焦中焦中焦中焦中焦中焦

反胃ハ胃氣ヲ補ニ血液精汁ノ

枯燥タルヲ潤澤シ中焦ノ火ノ衰

タルヲハアスヘテ治スヘシ

益氣補中湯小水桂枝芍

尾小門中焦中焦中焦中焦

二焦上ノ逆火有テ食飲ヲ下キ

カス也及胃ハ正火耗散スルニヨ

リ食物ヲ下キテ不傳送セズノア

凡也

故ニ壹腸云糖氣ノ藥邪火ヲ助是

芳香ノ溫藥又其類ノ共食ヲ專

忌也及胃云糖氣ノ藥ヲ用テモ

桂枝尾類ノ血液ヲ潤澤スル物

也寧ニ邪火ヲ助ス 否良江檀

香散糖水ノ類用ヘカラス枯燥瀉

也

糖氣ヲ精米ノ糖飯諸ノ處高干

物ノ清シカタキ物益嗜ノコキ物

糖食嗜食食心ヲ盡シ氣ヲタ

ルニハ事違事炭火ニ當リ生寒

寒ノ飯ノヤハラカナルニテト別

ヲ參テ用テ食後ニソコク安行ノ

飲食ヲ飭せしめ心腹肚脇ヲツツ
サスリサゲテ中焦ニ食物ノ滯住
せヌヤウニ養生スベシ

乳根ノ穴兩傍各一壯ヲ灸テ可
養乳正一寸五分脇間ノ脇肋也

●養血門

大營汗黃疸濕疸數疸女勞疸トテ
五疸ノ分別アレドモ病ノ生スル
ヤ者是濕ト熱トノミナ也故ニ
濕ヲノゾキ熱ヲ清スルヲ本トス

生去其内患疸實疸異アリ

耳鳴怔忡ノ微寒發熱し口中ヌク

ツク足痿小便白濁ハ必虚證之

實疸也淋中除濕湯 白朮入

二便ヲ

過スヘカラス

熱ニツテシ候ニ壯熱ノミナ

生じ太僕瀉リガチニ小便紅黃ハ

實也清心降濕湯 枳實 芍薬 茯苓 澤瀉

以上此類ノ

三太便秘セハ三四日三度ク一包

ノ内天黃ヲ加テヨシ若胸滿テ喘

悸生ハ急瀉ト心得テ急ニ治スヘシ

連々瀉ヲ過シ先暫小便黃澀其後

漸々ニ身体面白黄ナス瀉疸ト

心得テ黄ヲ大ニ中

表散し過中 茶中 六中 枳

二テ

類ニテ小腸膀胱ノ濕熱ヲ傷ス

ベレ

身体黄色ニシ小便スミヨク通スルハ中

焦濕熱ノ偏重ニアラス必血證ノ

黄瘕也壯中生地大有中

破し湯ノ氣アラハ大開石膏中

微し腹脹アス小振小振小

引使甚速ニテ大知小本

自汗甚極拒中若大便秘結

世實小腹中振小熱氣甚ハ

本小速中振中腹中不食

アス大腹中寸口ニ無脈

出ル氣ツメタク顔形細ニフス

ノマハリフシミ濕タ油ノ如クハ汗

出ル黄直ハ必死ス

身体黄色ニシ全身痛ハ偏重表ニ

アリトス汗之

身体黄色ニシ身不痛濕熱裏ア

リ下下ス

大脚氣ノ起ルヤ三初ヨリ脚氣

ナルトモアリ又餘ノ病タタリテ

脚氣トナルトモ有共證アタア

リ心入テ見分ヘシ

膝ヨリ足ニ至テ不仁シ或ハ虫ノ

ノミクハタカ如シ足ノツミサキヨリ

腰膝ニ至テ水ツカタレ

タヒアリ足膝カミ

不痺行

步履テ冷ルモアリ足膝ホメキ

脚ノ痛ニ幸急シカサハモアリ食

ノニホヒヲニクミ不食ノ脚氣起モ

アリ

コムライタリ針ニテ刺ツノ擲ニ

ツネヘテ胸ヘヨミ上ルモアリ足膝

ウカス時節引ツリテノペラレス

モアリ心作ノ寝所ヘアカリノス

コクミ脚氣起ルモアリ身熱ノ脚

ノ脚氣發ルモアリ膝痛ニ濕ノ脚

氣起ルモアリ

右空此種ノ病證有間見ナカ

タニ若見シラズノ癰治違ノ脚氣

ノ脚氣ニ入胸脇ニチフク上氣ス

脚氣氣滯ノモク腫テ重ニハ老ガ

勝中實合甚痛ニ已中通

勝中

實合

甚痛

已中

通

大貴

小貴

蘇中

葉小

葉小

葉小

葉小

葉小

葉小

葉小

葉小

合則アリト云トモ九ハ腎膀胱心

小腸ノ氣汚ルノ病也

腎ハ下焦ノ主也大小便之ヲ持

通行ノツカサトル者也今腎ノ

氣虚汚ノ穢濁生ス故小便濁ニ數

レ膀胱ハ三焦ヨリレタリタマハ

水液ヲタスツク故也其膀胱ニ邪

熱聚リ氣滯レハ小便濁ニ出カタ

ム故ニ茎中ニテ其熱氣サス故ニ

痛ム乾痛膏滿スハ茎中膿也熱

ハ小便レケキハ腎精虚スル故也

流下痛ハ膀胱熱スル故也補水

通利水也之拒中本中丁

如小便實中車小車少

萬中門大茅中如中拒中

初ハ別泄リ數ノ痛ニ攻第ニ小便實

ニアカク後ハ血ヲ出ス是ハ三焦ノ

邪トス清血無濁 藥中丁大

有 乾中 藥中 草サ 然云大事ノ

口傳有其味耳其性冷寒ニ直直

ノ水ヲマス藥ヲ補腎ノ劑トス其

味多其性寒冷ヲ屬底ノ經屬

ヲケナケ小便ヲ通利スル藥ヲ治

然ノ劑トス然則此兩劑ノ和合

ノ正陰ヲ補益レ邪熱ヲレリケ

治スル也

過は天津決壊三焦湯入故三時

ノ間ニツロシク 瘦悴目枯入面

ノ色ツレミ黒し其脈必微沈而

過也

吐瀉甚々腹快ノ腹痛甚々熱湯ニ

十枚アヌラシ臍ノ下元氣ノ在

ヲアタメ大勢メハ取替ヤクアタメ

ヨ温中既清湯 薑 中 桂 小 黃 中

本 桂 小 水 研 生 姜 吧 吐 ノ 三

甚キハ寒邪胃ニアリ 陳皮生等ヲ

多用ヨ 瀉瀉ノ三甚キハ寒邪脾ニ

アリ 未 未 フ 君 ト ス

轉筋甚キハ寒血メケラス師ノカ

ハ故也 瀉瀉 赤 紅 桂 中 寒 小

月 瀉瀉 腹 痛 甚 六 寒 小 寒 中

事 少 地 附 小

瀉瀉ハサアリト吐レタリ瀉レタリ

スル 瀉レタリ胃氣メケラスサ

食邪自退 部ト也 食邪退ケバ

胃氣カクニ生シ 陳陽分陰氣

相乘ノ榮衛モメタル故ニ治レ

瀉瀉ト云ハ中焦ノ正氣甚々

二清レ 瀉 生 冷 ノ 物 ヲ 多 食 ノ

消化セズノマ 中焦ニフサカツテ

上下交降ノ氣機ニ絶ノ吐セシト

ノ吐返セカレケク 瀉ニユキテ瀉セ

シトノ瀉セザルハ一大事也 妙 瀉

コタハタル熱湯ヲ多食 瀉ニユキテ瀉セ

ニテ瀉ノ宛ヲ探シハ瀉瀉スル也

大常榮生スルヲ健々ト云フミアリ

或ハ男女ニヨラス耗氣苦神榮血

滯川爆ヲ煎ニ内獲其脉虚散ニ

ナリ男ハ面赤蒼ク何トヤラ不伏

啼ナシ公前二月水ホソクノ後六ト

ニリ胸中虚煩ニ手足ノ内熱ニ

上氣ニ額煩紅ナル也

或ハ男子房事ヲ遺シ腎精虚耗

ニ次第ニ憔悴ト手足ホソク腰痛

ニ夜中ニ小便シケク盗汗出其

穢細弱ニ次第第三不食ノ分療ト

或モ下リ

或ハ氣体虚弱ナル人毎午疲ヲ

ヤミ不眠ナル故療ニテ中焦ヲ

榮血ヲ耗損シ疲ハオキヌ次第

ニ瘦汗多出テ後勞療ト成モア

リ或ハ氣虚ニ腰理ヨハクノ少モ

風寒ニアタルハ故氣スルヲ遠慮

ナキ醫師ニアハ邪氣表ニアリ

トナキ是散類ノ藥ニテ必發散

ス一度二度ハタルヒカラチドモツ

モリスレバイヨク氣液ヲセ終ニハ

肺苦ク呼吸促地ニナリ喉咽ニ

痰ツクハ次第第二肺カハ干枯痰多

内積六血交ル其脉濡細ニ血カ

是ハ表ヲ衛護スル氣ノ虚ニタ

ル人ヲ發散ノ劑ニテ表ノ元氣

ヲ榮シ盡タシ分療ト云フ

以上知此種々ノ分類初ト云ト
 毛神氣陽ニ血氣ヲ表散フコ
 ノンテ臟腑乾房分ノ精氣ツキ
 水源枯涸ノ皆於標トハナル也
 然間勞瘵ノ瘵治ハ腎水精微ヲ精
 血ニ心榮未榮ヲ滋潤ソ一身ノ
 筋骨ヲアルホニ攝養スルヲ第二
 也脾胃ヲ建立シ飲食ヲス、
 氣盛ニシテ榮衛ヲ生スルヤウニ
 棟ノ第二也心神ヲユラクトモチ
 血液カカヌ疾ニ房事ヲ戒テ精
 汁ハラス慎ニ慎ハテ第三也命門
 之火ヲ補フ温熱ノ藥并血氣
 ノ由醇酒醢醢等ヲ事忌也此類
 不リ也津液ヲキハテ、死期ナ
 カツタ也能可心得

其脈細弦ラ六七動モアハ神化

榮湯太大地門中折小桂小

壯小ノ如ヘシ若煩渴甚ハ如フヤ加

味ノ如クニ六路榮氣胃腸

右三部虛弱ニ正氣トモス

達小ノ如テリ血汗出ハ

或有ア瘵瘵面アヒミ黒ク自汗

盜汗多出汗ハヤク瘵瘵

不治

助魚五十壯ツク、腹會五十壯ハナヒ
惠門二九五十壯ニノイノサタ、四花ノ四水
百壯モウチヤク、三九三百壯ミナソウ、腰
服ノ二九五十壯フキ、右此コノミヨリ、サヲ可也
病者ノ機報メカシワキヌヤウニ漸錄可
夏冬各一投ノムヘキ丸藥
神授丸虎カネノケ、北物大皮桃仁去核
柳霜凡各一安見壹一分石細末
ノ和レバ、銀丸ノ如小豆大每服三十粒
枕抑技葉ノ煎汁ニテノセ忌除食
禁ノ病根藥也

中
國
人

夫中風之人身不遂口眼喎斜

[illegible]

大英新學堂二七五三三三

用テ其次ニ三五日風藥ヲ用ヘシ
是中獨ニ薑中ハ煎中ハ

脚子中風六千足痿又夕三不
逢麻浮ヲ惡風來千ア

麻黃湯
麻黃 桂枝 杏仁 甘草

右此藥ヲ五三日用テ又養來
通氣ヲ用ヘ

三入名中風ハ音啞物云ハス

便結ハナハナノ小便數ハナハナニ至リ此證ニ

今テ骨節痛ニシテ此ノ尤ヤ也
肉内煩悶ニ其故何ヲ問フ

其症ノ因ハ寒中道ノ如シ

自汗甚ハ發散ヲヤメテ本

足陽明ハ陽明ノ牛膝湯之

身痛ヲ甚ハ九中ヒ小桂小

腰痛ハ桂枝湯中

聲咳テ不出ハ香薷門

以上此機之大要也

風經筋ニ入テ口眼喎斜セハ雖合

車地合ノ三ケ穴ヲ各ニ時

耳ノ微動ノクホニ口ヒラケバイヨ

クホホ所也頓軍ハ耳ノヒクノ下

指一ツセルトサケテ額骨ノカド

ツケテクホメル所也以上此三

左ヘツカムニ右ヲ十一世ツ

右ヘツカムニ左ヘ十一世ツ

中風スレバ右ノ五氣ニシテ

風諸ニアラテ四肢不遂ハ

百會局中口リスケニワケメ

アサテナリ肩髃ハ肩ノ端兩

間ニテナリ肘アタシハ多

他ハ肘ヲ屈テナリメノレ

屈伸ハツトモニアリス

手ヲ垂レ下レ中指ノト

筋ノ間ノミツ也

足ノ三里ハ膝下三寸ニ有

子ノ分ノ外大筋ノ外也

足ノ外廉ノ外三寸サ

ハ

腎ノハツレ也。以上六穴。手足
痺痛。ハ多シ。右ノ手。足。痺痛。ハ
多シ。此。壯。也。壯。也。壯。也。

腰ノ痛。ハ氣。道。塞。リ。痰。涎。升。リ。塞。リ
不。能。言。中。關。氣。ノ。四。散。痺。ス。タ
マ。百。會。曲。池。足。ノ。二。三。風。池。ハ。ホ。ン
ノ。タ。本。髮。ノ。ラ。ニ。陰。三。聖。ツ。付。ツ。コ。リ

左右。ハ。二。寸。マ。ノ。ケ。テ。髮。ノ。生。際。至
陽。ノ。ユ。タ。ニ。十。リ

本相

肩井ハ。欽。益。ノ。上。肩。ノ。肉。ノ。上。大。筋。

ツ。ハ。ハ。ニ。ニ。痛。筋。也。

間使ハ。掌。ロ。ノ。魚。際。ノ。ハ。レ。ノ。ト。ヲ。リ。ニ。

中。二。指。ツ。付。三。寸。ノ。ケ。テ。兩。筋。間。也。

以上。七。穴。ハ。腰。ノ。中。居。ハ。神。ク。タ。タ。成

九。疾。難。治。ニ。一。所。ナ。世。或。ハ。七。壯。ニ。七

壯。マ。可。養。之

●氣門

夫人。命。ノ。始。ル。テ。父。母。ノ。交。ツ。感。精。也。

相。説。ノ。タ。子。ト。ナル。也。其。タ。子。胃。氣。

養。ツ。得。テ。十。箇。月。ヲ。經。テ。誕。生。

其。タ。子。相。混。ノ。一。元。タ。リ。ト。云。ヘ。ト。モ

一。元。ノ。内。ニ。陰。精。ノ。水。陽。氣。ノ。火。ヲ

ツ。タ。ス。諸。水。ハ。左。腎。ト。成。テ。一。身。ヲ

潤。シ。養。フ。主。タ。リ。陽。氣。ノ。火。ハ。右。腎

ト。成。テ。一。身。ヲ。ア。タ。メ。テ。腰。理。

ツ。ホ。ル。主。タ。リ。其。ノ。陰。精。陽。氣。

ア。イ。タ。ニ。主。人。ハ。ツ。リ。是。ヲ

神。ト。名。ク。此。氣。上。下。ヲ。昇。降。シ

萬法ヲ行レテ變萬化為主トナリ
一切ノ事ニ無不聞其物無有無味也
聖藥論ニ曰百病ハ生レテ氣

聖藥論云神ハ不可大用大用レ
則ハ氣散古人情氣如持至寶
ルヲ愚人ハサノ事ニ疎忽ノ氣ヲ
地上生レメカナハス事ヲ思慮ノ氣
ヲムス事ヲラカシ建愁ノ氣ヲ
結滞セシム故ニ氣痛ト云テ出来
ス凡也

男ハ陽ナル故ニ且氣結ニ氣逆氣
滯スレトモ或ハ諸リナグサニ或ハ
藥ノ事ヲ見聞或ハ好物遠來ナド
ニアハ其氣ホトケヤス多流通シヤ
可治

女ハ陰ナル故ニ氣結氣逆氣滯スル
一常座ハスコレナレトモツノミ
着ノ流散セズ藏府經絡ニ焦ニ
結ノ痛トナル 右如前故ニ心氣ノ
痛ハ女人ニハ多ク男子ニハスナレハ
ハツソノ中事也女人ニ氣ノタタ
タツナルアリ男子氣ヲモク不快
モアリ

九氣論スル上ニアレハ痰口上ニ
ヤスミカアラ痛ニ頭重シ散氣降
氣ノ制ヲ小
三ノ野氣ヲ散世ヨ 換ノ奴ハ
井ノ小ニア建愁ノ事ナリ
凡野氣中焦ニ有テ心腹ニ散タス

倉氣ヲ升降ニ中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

中焦ヲ快カラシメ

故三胃氣乏ノ一身ノ政務皆衰
氣乏ノ脉力ナクハ參苓苓小苓小苓
少中白芍 小是等用ヨ

ク本中白鳥小是等用三

下焦氣散盡し小便モリヤスク夜モシ

ゲタ 床子 大使 毛 足 中 白 尾
足 中 蛇 中 白 尾
足 中 蛇 中 白 尾
足 中 蛇 中 白 尾

又補レ女〔中〕白芍中歸中牛〔尾〕

ミテ後段ノ氣ヲ補ス。以上表ノ
陰氣正氣ノ虛是ヨリ氣ノ咸損下

凡ノ氣血ヲ收攝スル藥也ト云す
又ノ味ノ強弱ヲ論弁ノ其證

其證引合于見于能々配劑入へし

陽湯下之可也

附錄

建鼓三候一勾三下純鼓聖充

證調元強子不可用之相續發生

藥上云：別／罪煩可有之補氣。

故ノ藥ノマセニ過共胸中ニ氣ヲ

呼吸器科

東ノ二夜七頃快ナリ天候一大事也

天地之氣升降

鹿ノ収捕ノ方ナクテ散

丁酉二月三日

三月三十一日

特アノナニ最ニ適シ

故三氣病之藥治人者

情惡思生不

長とト療治アハズ也

平力ナレ
藥ト云
敵ノ内ニテ

内ニヤデカナ

牛藥トヲ速處シ其時々々ノ病ニ
宜キヲ相富相合ソテ用之

其間ニ若提證出來セバ藥中ニ加味ス
ルヘシ嘔吐ノ氣ヲラハ責 小事少委

小把ノ生姜 研上ニ取シ而紅下ラハ
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

提酒茶 小味 提酒茶 小味
提酒茶 小味 提酒茶 小味

テ脊ニテ二節ノヤキヲ一所ニ合
テ其トク所ノ背中に三葉ヲ五ス
是ヲ壯壯五十壯發スヘシ心氣云
無上至極ノ妙灸也又四花愚門
背脊腹腹ナト必宜灸之

● 痰飲門

夫血ハ榮トナツテ腹中ヲナガシ氣
ハ衛トナツテ腹外ヲスグル此榮
衛十六丈二尺ノ脈道ヲ晝夜百
廻ノ間三五十返流行スル也胃司
生出スル津液此榮衛ヲシテ一身
ノ内外藏府肩腰ヲウルホス物也
若氣寒滯則ハ津液モツルハ滯也
若氣熱流スル時ハ津液ト若ク身

熱ト云テ病ノ名也

痰飲ノ病ニ有痰痰裏痰公痰乾痰
濕痰燥痰之具其脈浮滑ナルヲハ
表痰トス麻黃湯中其
痰既滑ナルヲ裏痰トナス奴小
中痰目ヤ麻連滑ナルヲ冷痰ト
ナス坐車大黃湯中其
ナルヲ熱痰トナス苓小紫中
小青桂枝小肺中ノ痰連ニテ津液乾
痰乾ハ門大葉肺中ノ痰水濕上
濕大連ニテ痰多ハ中痰中
痰小

風邪ニテ多

痰胸中ニ迷悶世ハ

費中主姜切苓小食積アリテ痰

胸ニ塞スル中痰粉小實

痰粉小實

白子干宜桑白潤肺益氣湯

門大參小菖小茸小本小貴小六小中

肺俞二兎風門ノ二兎宜灸之以

上一所各五十壯百壯之灸之足

ノ三里ノ二兎二十壯三十壯之灸

ノ宜渡逆上ノ火邪腹中ハ難為禁

灸尤治喘五七壯許之

持病ノ喘或既ニ發タル時ハ桑白潤

也痛ヲ發スル邪氣ノ操體ニヨツ

テ却之風寒ニアタリ發ヲハ宜發

散火邪逆上セハ降火限ツダスカ日

寒邪ヲ退クルニ麻小桂風邪ニハ

蘇中青中蒿小之類逆火ノ降云

麥小柏中柏小商中附中クルハ門ハ

カヲテ表生スニハ肺陰ノ正氣ヲタ

ステ發ノ苦レキキ時ハ邪氣ヲ升治

スルノ三

●心痛門 閉息痛

心ノ痛ニ種々ノ分別アリ

細虫發熱ス故ニ心腹痛者ハ必面也

所合白琅ノ屑紅痛止則ハ食事ア

リ其痛ニ有レ徑來安由快腸湯

青小蔞中奴小栝中西中栝中竹

身寒邪ヲタリハ寒物ヲ食シ辛ニ心

腹痛ハ必關脈緊ナルハ心

氣湯 青中栝中蔞中我中生中

又ハ貴中蔞中栝中敗中生中

ヲ研テ入タル熱湯ニカキ用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

用ス

モ妙也

平生喜テ食熱物ヲ死血胃ロニトハ

マツテ痛ハ現ル桃中實大結血塊

痛トノ可與紅小鞭大ヲ加テヨレ

心脇痛所物モンテツヨクヲサユル時ハ

痛止快然タリト云ハ此痛ト知

ベシ肝心虚ス貴大半ク茶中姜小

半少煎ノモ散テモ與之

心脇痛所甚硬ノキモヨサセズ痛

大便結シ腹堅實ハ下ベシ

朴中鹿股ニテ痛マハ加テ腸ニ

テ痛マハ加柴青ヲ

婦人ノム子虫トテ持病ニアツテ節マ

發生ハ快通氣腸歩大奴中

嘔吐ノ五テラハ平増シ胃積ヲ

加ヨ大便結セハ加鹿小煎大虫街上

心下ニヨツカハ柴中枝根中竹ハ

ヲ加ヨ手足冷厥伏ノ息冷ハ

附子少可加牡蠣燒細末ノ薑湯

ニテノミセヨ物ニ心痛ヲ治ス

ツラレテニツニツムスビツキ病入ノク

ニニガケ雨ノサキヲ雨ニハレ雨乳

頭ノサキニテアトク所ニ薑ヲ付脊

後ヘクルリトマレテ背ノトヲリ

ニテ胸ノ裏ヲ一所ニ合其トク所

痛余テ後ニ三日後ニ五十壯百壯

長定ニ虎ト不發也可細と

●腰痛門 腰婦人腰氣

腰痛門 腰婦人腰氣

夫腰ハ兩腎之所在也腎氣衰則腰膝痛

流注通スル則ハ腰膝痛ノ病ナシ

或ハ府事ノ邊ニ腎水竭精汁燥ケ

ハ腎氣流行セズ血氣モ宜通セズ

氣血凝間ニ滯リ塞テ終痛ニ生

ズ氣多塞ハ腰脊疼痛血多滯ハ

腰ノ二ノ腹也腎虛腰痛ハ腰必

大也先腎氣ノ滯リタルヲ通行セ

補腎通氣湯 羌奴小己 苓

朮 柏小六 通中 後六 鹿シ

治血湯 桃大紅小地 中 膝中 六

中 膝中

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

或ハ濕氣ニシテサレ腰膝重起居成

大ニ甚重タハ知見^中奴^小答^中ハ
大便^中結^中塞^中 宜^中其^中小^中便^中大^中共^中ヲ
如^中口^中痛^中所^中甚^中熱^中上^中膝^中實^中數^中す^中ラハ
如^中指^中大^中奴^中衆^中ヲ^中如^中テ^中毒^中中^中ノ^中穴^中針^中
ヲ^中刺^中シ^中ム^中ヲ^中出^中ラ^中ク^中キ^中時^中ニ^中兩^中足^中ヲ
ノ^中へ^中壓^中シ^中ノ^中大^中シ^中ハ^中ノ^中ミ^中中^中ナ^中リ^中熱^中ソ
脾^中痛^中ニ^中ハ^中推^中氣^中ノ^中藥^中參^中芪^中ノ^中類^中不^中
用^中推^中氣^中ハ^中痛^中イ^中ヨ^中ク^中ニ^中食^中物^中モ^中同^中
用^中テ^中針^中滯^中ヲ^中散^中通^中サ^中セ^中シ^中ス^中ハ^中可^中也^中
收^中斂^中ス^中ル^中指^中藥^中ハ^中忌^中マ^中ズ

婦人ノ腰氣ニモ種々ノ分別アリ
夫女人ハ十四歳ニラ始テ月水來ル
ト云ヘトモ二十歳ニラ婚姻相合ノ

モ未盛トモ三四歳ノ時陰陽交
合ノ未熟ノ衝任ノ經脈ヲ破損
シ血海乱レテ榮衛トモレクハ此
筋骨痠サズ故ニ腰痛ニ股膝スク
ニ起^中者^中レ^中ガ^中タ^中タ^中後^中ニ^中ハ^中腰^中氣^中ト^中成^中也^中
婦人女子ノ陰氣大ナルニ其女少
年ナレハ必此病由來スルナリ經脈ノ
ミナカニ榮衛ノ本トスル衝任ノハレ
テリテ破損スル故ニ難平愈
既ニ十五六七八歳ニラニ衝任ノ脈血

調リ血海充^中ニ^中ミ^中シ^中テ^中月^中水^中能^中信^中
通^中ス^中ル^中ニ^中榮^中衛^中合^中ノ^中道^中モ^中ナ^中ク^中榮^中ヲ^中カ
チ^中閉^中ノ^中内^中ニ^中獨^中居^中シ^中心^中神^中流^中散^中セ^中ズ
斯^中々^中ニ^中氣^中結^中レ^中テ^中ナ^中ク^中サ^中ニ^中ホ^中ト^中ク^中

經三胸ヲレシテ氣ハ世ニ散時を出入
門ハ本ハ氣ヲ小抱中常中其

又心ヲモフクサス氣ヲモムスホフカ
サズ交合ノ儀有テ勝氣ヲワア

ヲフハ血ノ道ノ病也

夫月信ノ隔ハ風寒暑濕ノ邪氣ヲ
積ニ血ヲニアラカサズ又血ヲ亂シ

血ヲニヤレ血ヲ停ラカス食物ヲイ

ニ又怒テ氣ヲ逆上セシト憂思ノ

氣ヲ總ラシス驚驚テ氣血ヲハタト

キラサシムル類ヲ思ハ決ナレニ邪

氣ニアタリ妄ニ雜食シ憂思慮驚

怒ヤミサル故三月信通シ殘テ勝

氣ノ周ニ通シ君ノ體ク月々ニ月サ

帝枯癯ヲ有テ故ニ時重痛ニ朕

スラミシレ後ハ起若不足行歩主

レ風邪ヲハ真獨ニテ驅散シ寒邪

ヲハ真濕性ニテ驅散シ濕邪ヲ

ハ已テ是ハ指ニテ退ケ熱邪ヲハ

指知シ熱邪ヲ退ケサススヘレ熱邪

冷痺ヲハ杜チテ見小使テ紅小我

ミテ導道甘ヲ勝氣ノ無道ニ勝氣

有テ起テ流道世スハ地勝小

使テ中ニ王小恒中テ有テ之類テ

勝氣ヲ導

腹背ノ二穴十九指ノ下左右各三

寸マ腎俞ノ二穴ハ十四指ノ下左右

各二寸五分マ腰俞ノ二穴ハ二十一

推ノ節ノ下也

以上三名ノ五穴ノ婦人腰氣光

中處實トモニ可受一所五十壯百

壯ノ灸ノ宜五三百壯

● 腹瀉門

夫腹瀉ノ病ニシテハ物ニ邪ニアラズ

マノ用アリ

或邪氣入テ腹痛スル者ハ腹必

緊也温散ノ藥ヲ可用寒邪ハ諸

氣ノ収歛セシムル膏糖ノ運行セ

サニ故也膏ヲ生薑中芥桂小青

木抄ホ 聚姜湯中湯

脾胃弱ク中焦虚ノ食物滯スルヲ

治ナキハ神清散烏頭八生冷ノ

後ハ痛ユリガセニノ心安ハ食積痛

必セリ麻必散也温散ト行氣ト

通利トノ藥ヲ用ヘし膚積寒積

湯實抄虎抄奴抄朴抄青抄龍

菰抄生薑研

痰氣中焦下焦三滯リ水穀分利ノ

藥アリタリガナナル故ニ腹痛スル

アリ痛ハ時小便必澀也尿必痛也

分利通氣散已抄奴抄苓抄朴抄

貴抄目抄以上此類ニテ寒ヲ三

十ニキ膏氣ヲ解スヘシ

一疝疝リテ痛ニ割所ニクツラス其

痛ニ増減ナキハ死血也桃抄大抄紅抄

鹿抄波抄莎抄奴抄桂抄鞭抄沽

治

血氣痛湯

腹中常ニ熱有テ痛ハ積熱ノ痛ト
ス腹堅ノフスヲフラム脾公供養
ナリ寛胃湯 虎骨實中朴中奴
中芍桂少

細虫故ニ腹痛ニハ痛門ノ安虫散
腸湯ヲ與コ

婦人血虚ノ腹痛スルニハ必用白芍也
食積痛寒食積痛死血痛ノ痛ニ芍
ヲサノミ不用味酸ク性寒ヲ收飲
ノ功アツテ溫散ノ能ノナキ故也

● 腹痛門

大兩脚ハ足ノ少陽膽經ノ流行ス
ル所胆經ニ本注布トコロナリ故ニ

經ニ其氣未衰實ノ通行セズ故也事
肝通氣湯 青中柴大芍中四中

芍中羌中實中
大肝ハ左ニ居ス膽モ亦肝ノ短葉ノ

間ニトリ付テイル也故ニ左ノ膽
肺ハ右リ膽ニ痛ハ肝膽ノ痛也乾也

ハ柴大 柴中 芍中 奴中 八
青中 芍中 桂中 生薑 附食ニ

減客ヲ用コ其脈沉實數ニノ脈
甚痛ニ大便硬クハ花中 莽中 連

中 柴中 虎中
右ノ脇甚痛ハ肺氣ノ滯リ也食積

ノ痛痰ヲナルヘ七脾氣ノ滯リナ
タハ氣口ノ脈實ノ脈アリ胸中

中 芍中 桂中 生薑 附食ニ
減客ヲ用コ其脈沉實數ニノ脈
甚痛ニ大便硬クハ花中 莽中 連

又痛ミイキタカレカレニ貴
小腸す已カ右開腹實大ニ痛ヨ
リ腹ノ痛ニ食事ヲ止ス痛頸甚食
痛也小腸ノ實ヲ小腹痛小
●高氣門

大氣氣ニ七種之分別アル也多
健諸論アリト云ヘトモ多ハ足ノ
腹肝經ノ痛也小腹痛ヨリ腰九通チ
別痛ニ或ハ腰九ヨリ章門ノ下ノ腰
骨ノキハ引痛モアリ以上皆肝經
也少ハ足ノ小腸腎經ノ痛也腰九
ヨリ小腹痛ノ左右ヘ牽ル痛是腎
經也腎ノ經ハ臍ヲサレハサシテ左
右各五分々ノトヲリヲタチノホレ

タチモナキ有或ハ形有テムノ如
ナレモアリ或ハ聲有テ蛙ナクコト
タチモアリ

凡諸論ヲ考フルニ皆以爲寒其証ハ
寒ハ主引經絡得寒時ハタラ
スモキタル也故ニ痛ヲ生スト論
サリ然此不審アリ平生ホツフ
ニ水瀉テ一週痛氣ナキ人アリ
是内ニ無濕熱人也

大抵此氣ヲ始ミル肝腎ノ二經ニ
生濕熱又ノ經氣變ノ順行セス
其上ニ寒邪ニアタレハ寒ハ外ニ氣
ヲ引手トタル物也故ニ内ニ濕熱
實スルヲ得甚上故ニ寒ニテタツ

テ發ル也又天地ノ濕熱ヲヨキ

ニモ發リ濕熱ノ飲食ヲ過ハ時モ

發ルハ内ニアル濕熱ニ又濕熱ヲ

カサスル故ニ濕熱ニアラツテモ發

ル也

退而補腎湯

無間治法ハ是也大相中實ヲ抱中平

小寒中此類ニテ過熱ヲ退ケ已

實中此類ニテ中此類ニテ

經絡ニアル餘氣ヲ流通スヘシ

内經ノ説ニ代テ體此上ニ加減セヨ

大ニ過スル則ハ大起手は骨ヲケリ

テ痛覺ラズ榮地ニ至知ヨ醉醒スル

則ハ大起手は骨ヲケリ

發入短脈境六ツ加ヨ大ニ怒ル則ハ

大肝ニアル忿怒スルコトニ病發ハ

榮地ノ小脈ヲ知ヨ以上ヨミテ人

濕熱餘氣相火ノナセル病氣ノ

治法也

又癰血聚于小腹肝腎ノ二經ニ病

氣ノ病氣ヲノコスモ有ヘシ是見

ノ見ハサノニ候ノ事候ナクイハ

ノ痛氣治血脈病湯桃大紅

實中此類ニテ中此類ニテ

大數所由ニ康交車門ノスヘシ大

數ハ足ノ大相ノ氣ノ振ヨリ一分ハ

ドノケラ水ノ調ヲテリ五壯ヲ受

世ヨ肝經ノ先也

肝門ハ臍ノ下三寸ニアリ三十壯矣
スレニ三百壯ニ至レ三陽支大内
經ノ上三寸ニ有レ壯此壯ヲ灸ス
肝門ハ臍ノハ臍ノトアリ也ソバサミ
ニ子サセ上ノ足ヲカミ下ノ足ヲ
サレノヘニナラフアケ臍ノトアリニ
アルアハラハ臍ノサキノヲレハツレノ
クハ也アトシテハツレニナラフハ故ニ
アリニ二百壯三百壯灸セヨ肝經
通レノ所也

臍ノ下三寸ニ或ハヘノコノツケモト堅
ク腹ヲ擊ヒ急セス痛ニナルハ
此壯ヲ
可也臍ノ下三寸ニ厚味トシテ忌ム

氣血テ水穀ノ精氣ヲ不能運化
スレテ清濁混雜ノ大腸ニタリツム
土金虛乏ナラ故ニ肝木腸中クタ
リ衆ノ腸中ニ風氣ヲ生ノ終ニ腸風
痔漏ノ瘡生スル也

肝門モハ臍ノ下三寸ニ有レ壯此壯ヲ灸ス
トニ物イデキ或痛ニ或痒ク或レ
スレクハ便スルニ碍リ痛ニ長
坐ニモクハレク發汗時ニアツテ痛甚
ノ多シ汁流レ也是ヲ痔ト云

臍ノ下三寸ニ或ハヘノコノツケモト堅
ク腹ヲ擊ヒ急セス痛ニナルハ
此壯ヲ
可也臍ノ下三寸ニ厚味トシテ忌ム

ナシタノ其元日大便少ク出ルヲ
リ其元ノ白ウリヤチモトニセクノ具
ヘテ事レノ知此ナルヲ満ト云
其元元小ヲ力有ニ其元元大ニ其元

ハ難治

丹ノ内藥六四ノ管持^{カセツ}有活血厚腸腸
右ノ大元^ノ有^ノ數下焦^ノ内然マラ
ハ板本尾走捷下腸大腸中三風
有テ時々下血セハ生地^ノ用ニテ凉
血生血^ノ用ニテ和血大腸ノ潤
液^ノ大便秘結セハ虎奴大麻仁
ノ類ニテ大腸ヲ潤シ通ヨ大便^ノ通
其元元肝系下ラシテ邪風生セハ
其元元^ノ風氣ヲ引升セヨ

タノ口カレニテハ洗ヘシ又ハ胡麻
コク煎クモ洗也腹消レ痛ヤム

丹ノ付藥本^ノ五倍子ニ種細末
ノ付又^ノ粉ニシテ粉ニシテコ

ノ類ニテ氣血目刀ノ補ニ風邪腸
腸腸^ノノ法ニ隨テ加減

ノ類ニテ氣血目刀ノ補ニ風邪腸
腸腸^ノノ法ニ隨テ加減

ノ類ニテ氣血目刀ノ補ニ風邪腸
腸腸^ノノ法ニ隨テ加減

ノ類ニテ氣血目刀ノ補ニ風邪腸
腸腸^ノノ法ニ隨テ加減

路ニ付テ岩湯ノ湯泉ノ内ニ入リ
馬鹿根ヲスミテ漏光ニ付テ内ニ
平等ニテハトリノケヨリ時ノ間内
アサレ物也マキ 題セ内高シヤカシ
テヘラスツ其後ニヤ膏藥ヲ付ヨ又
ハ鹿角ノ白燒ノ末ヲ付ヨ

● 經血門

腎水虚乏シ候大腸ノ血陰火ニ隨
テ妄行ス陽盛陰虛ノ故ニ外ニ
有テ降ハコトナシト云上ノ火氣ヲサ
ズルテ陽氣ヲニ合リ鼻孔ニ出ル也
法ニテ二種ニ抑陽氣ヲタタサセ
時ハ血未經ニ歸ノ經血トナル也
角湯ヲ中 肺中ノ火氣ヲ去ル

熱アラハ鼻前末ノ鼻藥ニカキタテ
用ヨ冷水ニ手拭ヲヨラシ項陰除ノ
下ヲヒヤセトリ入レヒヤセカヨリニ
テ患人牛ノ中茹ハノ根ヨリ二分計
ミテクハ大ニ金門經ノ井ノ中衝
穴ノ處也此處ヨリ經血ハ先指アレシ
内鼻前末ニ流シ鼻前末ニ流シ
ナクテテハ大推藥門ヲ頭ニ大ニ推ハ
背脊ノ第二椎ノ下也又七壯藥門ハ
項ノ經脈ニ入テ五分也又三壯藥門ハ
耳ノ經脈ニ入テ五分也又三壯藥門ハ
耳ノ經脈ニ入テ五分也又三壯藥門ハ

● 吐血門

吐血ニ患人ノ血氣ノ逆也
秋ニ九回治癒ノ法ニ云上ノ邊人

之銀ヲ用コ

吐血喘血衄血俱生ナル諸藥ヲトセリ

ト研子地黃ノ末ヲ入ヨクスリ枳

温湯ニノミスル也

●下血門

天血ノ下ルハ大馬ニ括アリ下血源ス

ルニ因テナリ 脾經ハ生地大芍 中升

ハ先ハ海本 小ニテセエ或源相下血

ハ源地ハ白芍 中升 小芍 中升 六ニテ

撞ニ若大馬ニ風相下陷ノ血下ス

地大芍 中升 小芍 中升 小芍 中升 大芍

尾芥 奴小

通淋七熱ヲ消ス

下血ノ諸藥不効アテ愈テ亦發ル

ニ骨脊十四椎ノ節ノ下 命門ノ

穴ヲ五寸壯百壯ニ正立ノ兩足

ノ間ヨリ膝中ニテノ寸ヲ付三丁

取テソレヲ背脊ニハレ兩ノ腰ノ

間ヨリ骨脊ノ間中ニハレトク所也

當坐ノレレ計ニテセナクニ世不

得發也 按家聖功方卷之上

下血ノ諸藥不効アテ愈テ亦發ル

ニ骨脊十四椎ノ節ノ下 命門ノ

穴ヲ五寸壯百壯ニ正立ノ兩足

ノ間ヨリ膝中ニテノ寸ヲ付三丁

取テソレヲ背脊ニハレ兩ノ腰ノ

間ヨリ骨脊ノ間中ニハレトク所也

當坐ノレレ計ニテセナクニ世不

得發也 按家聖功方卷之上

下血ノ諸藥不効アテ愈テ亦發ル

ニ骨脊十四椎ノ節ノ下 命門ノ

穴ヲ五寸壯百壯ニ正立ノ兩足

ノ間ヨリ膝中ニテノ寸ヲ付三丁

取テソレヲ背脊ニハレ兩ノ腰ノ

間ヨリ骨脊ノ間中ニハレトク所也

卷下目錄

清陽門

汗門

氣逆

發結

眩暈

腦脹

腰痛

耳鳴

耳聾

口舌

牙痛

喉痛

喉乾

喉風

喉閉

喉蛾

喉癰

喉疳

喉疔

喉瘤

喉癰

喉疔

喉癰

喉疔

喉癰

喉疔

喉癰

喉疔

乳汁

中風

眼死

乳瀉

乳月

乳血

乳疔

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

乳癰

小兒門

生下調養

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

驚風

乳汁

中風

胎死

血氣虧損

產月

胎前

胎前

胎前

產後

產後

產後

產後

產後

產後

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

胎毒

小兒門

生力調養

安胎

諸症論說

痘疹表裏虛實

痘疹論十三

痘疹不能言

痘疹

痘疹

下目錄終

驚風二

驚風

痘疹因序

痘疹

痘疹

痘疹不能行

痘疹

胃や腸が空しくなると、
二便が通じない。

湯水ヲノミ、
胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

胃中が熱くなり、
口が乾く。

經絡ノ虚血津潤榮湯生地黄天

栝之根手栝實水潤相火生

津液ヲ栝大紅中蒼尾小熟地中

第大此類三栝五充受衛ノ叔小

中推實中此類三時ノ須小

中應實中栝中藥中白芍中芍

中應小中此類三氣中液中升中降

中應小中鹿中尾中尾中尾中尾中尾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

中應小中此類三大中便中乾中乾中乾中

烏其辛溫熱ノ物不可用之

● 眩暈門

夫溫痰上二海ノ目暗々ナリ塵火下口

リ炎上ノ眩暈ヲ生スル也故ニ目ク

ラ多花ヲ生ズホ草ニテシテユルク

也其時ハ辛ニ付テ無所知ス對

症ナケシモ真水煎服ノ後復シ盡

心相火炎上ノ時々眩暈スルモアリ

然則ニハ肥白人ノ眩暈ハ降炎上ノ火知

疾必右手ノ脈實也清心聖藥湯

貴平ヲ奪ハ空ヲ相是生

晏明黑瘦ノ人ノ眩暈ハ補不足ノ

腎水偶炎上相火ヲ服必盡ノ

神既昏疎白芍中地大升小六

眩暈也尤中地大劑 昔小之類

ヲ知眩暈ノ經證有テ眩暈世ハ

片草 連小地 相中ヲ加ヘハ脈

既達ヲ失證有テ眩暈世ハ桂中

附小生藥所加

大陰陽或虛或實或痰或火或下中

二在經脈中ニ眩暈世ハ甘芍中

藥地中 藥ヲ用日又氣付藥ヲ與日

清黃一分 煎ツル 中 其 以上三

味細末ツカサテイノ草ニ一スツキニ天

ノ湯ニテ之ヲ胡散ツカサテ人ノ

名症神散又寒ノ中ニハレト鶴ツ

厚朴ニノ氣付藥ニ中ノ用藥也

太陽陽土客氣ノ時ハ森陽藥也

太陽陽土客氣ノ時ハ森陽藥也

甚三役して頭痛ノヲモク物ニテノク
凡ガ如クノ狀筆し不食せし餘
胃弱本十年中貴小谷小村山
中腹風本太過ノ故外感風邪
狀筆其狀小谷小村山
中腹風本太過ノ故外感風邪
狀筆其狀小谷小村山
中腹風本太過ノ故外感風邪
狀筆其狀小谷小村山

● 腹門

夫肚門ノ腹出スル所以ハ氣虛ノ故引
スルコトタススノ腹出スルコトアリ又
年虛シ下焦ニ熱氣生ノ腹出スル
アリ參小底中ニテ補氣虛升ニテ
腹下ノ氣ヲ本壯日地大芥小ニテ

附子ノ腹前ノ古壁ノ土ヲ入カキニテ
レヨリカニ三洗腹肝ヲ五倍子ノ末ヲ
付テカレ入日如乾四五度モ十度モスルハ
必效ハノス腹也又腎頭龜頭イグレ
ナリトモ腹硬ラ末ノ麻油ニトキ肝

● 肝門

成百會命門龜尾家山ヲ可受百會
肩間ヨリ上八寸三十二壯灸命門
十四壯ノ下三十三壯五十五壯灸
龜尾ノ脊骨ノ下ニテキカスノ下
五壯三十二壯灸命門ハ足ノ下
ノ肉ノ下ノ下ニテ也三十壯ヲ
灸ス

● 腹門

上攻耳中痛

10

如川瀬或鐘鼓若傳音事指諸音

水ヲ流相次ニ流轉ヲ用ル則ハ愈々情

鬱結シ瘵上ニ壅リ清氣不順諸家

血順行セザハ耳鳴塞聾又却七情

心神ヲ無事ナラシメ氣血順行ト却

瘵ヲ瘳フ用明ハ無事小愈

腎水虛既レ轉氣ノホラズ相火盛ニ元

下耳鳴トツクム地大行小柱中門

基中栢中却小補腎通氣湯トス

或ハ世務ニ心ヲ盡シ或ハ家事ニ思ヒマデ

ス氣ヲ結ラカシ或ハ學問ニ神ヲ分

シ或ハ勤講教或ハ持經ニ氣血

漸ニ滯リ耳鳴リ塞聾セハ專ヲ氣

ヲ運行シ血ヲ調運スヘシ養神快氣

地紅

大弟ノ後身瘦元精乏肝腎ノ氣衰多

リカ子耳鳴リトクハ培元養腎湯

來小芥小參小井少事小地大

中 招中 廣後三三血ヲ行リ上ニ氣

ヲ入ニ氣血上リ滯テ耳鳴遠ク遠

降氣去瘀血ヲ筋中 奴小 紅小 桃

中正サヲ廣テノ血サニ輪廻調フ

如合

瘵後氣血多下リ 邊庄ノ時氣ヲ

養神快氣ノ効サ人ノ只今瘵後ニ

氣健暢ノ耳ヲ本日ニ目覺テ口有

ア明爽ニ六參小芥小地大 來小

中井少 養中 壯

大人小兒ニカテテ耳ノ根腫カ

瘵

計出二升 中丁 中芍 小生地 大

細小 牛小 芩小 其小 紅小 忍中 上

氣脹痛ノ氣ヲ去テ舒ク加口上焦三

風解有テ耳ヲ填ミテ腫痛ハ加

背紫ヲ通尿皆寒ノ制ヲ以テ不痛

ノ節々耳ヲ背汗ノ出ニハ格未ヲ

少々入口耳へ水ノ入テ痛ニハ石其時ヲ

スリ上ホテ計ヲ取テ耳へ入ヨ

●鼻衄病門

大鼻ハ肺氣ノ通スル所香臭ヲ吸引

スル所也肺ハ清虛ヲコレニテ窒碍

ヲラム外ハ風寒ヲニテ三内ハ燥火

故ニ皮毛風寒ニアタレ肺氣ヲサガリ

鼻氣不通或生痰壅塞ヲ經理トナ

ス

經ニ入時ハ衄血出

常ニ肺氣壅リ鼻氣不通行ハ阻

通氣路

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

肺中ニ大熱アリテ衄血出

乳_ノ輕_ク爲_ル頭_ノ失_ハ各_ノ採_ルノ_生

藥_ニ調_ヒ也_ノ分_ニ五_ル一_方三_ハ

名山_ニ採_ル仁_爲採_ル茶_ノタ_ハ三_ニ下_ニ送_ル

下_一月_計八_日酒_ニ煮_ル物_焼物_之類_成

禁_之

烏_頭生_ノ香_臭ヲ_忌ス_ニ或_ハ鼻_痛ヲ_下

鼻_中ニ_生ル_生レ_痛腫_血出_ス云_ハ鼻_毒

細_辛等_ハ右_末ノ_且粒_射綿_ニマ_ン

了_ハ鼻_中ニ_生ル_生レ_痛腫_血出_ス云_ハ鼻_毒

獨_邊カ_キリ_ナク_續出_下後_ニ或_ハ血

交_出是_タハ_鼻洞_ト云_云中_ニ生_ル生_レ痛_腫血_出ス_云ハ_鼻毒

其_少少_少連_花牛_少

口_古門

古_心鼻_ノ外_ノ生_ル生_レ痛_腫血_出ス_云ハ_鼻毒

點_致ハ_因五_味ノ_爲傷_ニ生_口古_之

病_也

心_脾熱_ノ口_古ニ_生ル_生レ_痛腫_血出_ス云_ハ鼻_毒

其_少少_少連_花牛_少

肺_熱ノ_氣上_ニ行_リ痰_涎リ_唇口_古ニ_生ル_生レ_痛腫_血出_ス云_ハ鼻_毒

其_少少_少連_花牛_少

中_ニ生_ル生_レ痛_腫血_出ス_云ハ_鼻毒

生_病ハ_知連_二味_抹ノ_清水_手口_古ニ_生ル_生レ_痛腫_血出_ス云_ハ鼻_毒

方_ニ調_ヒ也_ノ分_ニ五_ル一_方三_ハ

大_豆末_ト二_九ノ_中ニ_含三_化云_云鼻_毒

口_中甚_矣三_八草_小生_古少_古抹_古

燒蜜丸ノ含ム一方ニ燒心草ノ濃
煎三節々ヲミミ數ク如此久用テ



必腹 七五ノ
心熱ノ生重舌或ハ舌大ニ腫脹シテ不食

味ノ煎汁ヲセツクノ法

傷寒ノ末ヲ見ル吐瀉ノアリク

計月中三入丁（一）
分經ノ學ヲ退十八

東方之國也

別ニ病ニ卒ニ上ニ

血流出少者古銅花結末

子リカケヨ五倍子ノ求仕蛭求

古上ニ白胎ヲ生シ燥透テ觀言ニハ

荷来ツ生蜜二個テスル(七或ハ)

卷之四

六口申後

上中藥方中茶中書中律少

平聲中

廣雅釋詁

地火熱

野蠻名其地大巧中拓

貴中
年
連
本
中
虎

卷之八

腎經、口、心、門、中

六六六
知小
口中
中
中
中

食肉

中
下
升
其
中
下
中

[illegible]

辰王妙也

● 牙齒門

齒ハ夫骨ノ餘リ骨ハ夫腎ノ所生也
上齒ハ胃經ノ所主也下齒ハ大腸
經ノ所主也

開口風寒アタラテ齒痛キハ陽胃ニ風

邪アル也苟ハ柯ハ羌中芸細

齒痛ニ開口則ハ鼻ノヨラレスハ陽胃

中ノ精氣ナリ生地 大升 連

骨少玉骨骨少

齒頰宜露痛ニ或ハ齒ノ根スキテ上ル

タハ腎元氣ノ虚也桃大解 相中

地 草 基中 椿骨 少妙

齒頰腐ニ是時經脈ニ隨テ上テノ

齒肉腫テ楊枝ヲシカウコトニ血出生ニ

ハ大者子ヲ舂碎シ末ノ鹽ヲ加テ

齒頰ニヌリ口中ニタメル汁ヲハ其レ

齒ノ痛ノ甚痛モ陽胃濕熱其故也

椒大 乳小 右細末ト丸ノ虫ノ充入

又ハ膏ニ取婦ニ治ス

一方ニハ巴豆ノ入タル丸藥ヲフハヤス

ニレ止ム一法ニ巴豆ノ油ヲ紙

中ニ入カミヨリノサキヲトシテ細

ニアツシハ虫即死テ毒發セズ一方ニ

ハスレノ上實ヲ末シ丸ノ虫ノ充ニ

大牙痛エルヤ痛三箇キ腫疼キ痛時
ハ齒ノ根ノ内外ニ藥ヲ付テ拔ト
有專テシキヤ也藥モ亦烏頭草
硃砂輕粉ノ天ニ降シキ藥也其タ
可拔若ニカハス王堅ル藥ヲ外ニ
塞之内ニ貼目ノ濕熱ヲ除ク藥
川芎可有驗細考ル者 第拾
右末ノ齒ノ根ニスル

●咽喉門

咽ハ後ニアリテ飲食ヲサス胃ニ通下
スルノ道ナリ喉ハ前ニ有テ呼吸ヲ出
今ノ氣ヲ通スルノ路也若火ノ心經ト
相火ニ焦ノ經ト皆喉ヲ結故ニ二
火ノ氣内ニ角結スル時ハ喉ヲ疫テ
スル者多ク死ス

凡喉痺ヲ治スル六針刺ノ血ヲ出スヲ

最モ上策トス針口ヲ白ク痛ニ生サ
サ爾下熱湯三調テサシヤイノムク
下シム多ク熱灸アレドモ微ナキ者ニ
ハ可用甚ナキ者ハ微ナシ
喉痺ノ症ヲ治スル 救急少モイル也
ニスハカサス

風邪ノ染痺甚腫痛ノ症

ア治スルニ湯熨トス 風邪ノ染痺甚腫痛ノ症
ハ湯熨トス 右細末ノ粉ヲニテ喉中ニ吹入
或ハ鼻中ニ吹フテ入ニ方ニ白丸
巴豆ニテ表及ニ一粒ヲ内ニ丸ニ右白丸
ノ生器ニ入テ及ノ上ニテト口ガニト
足クタル中ニ碎タレ巴豆ヲ入白丸ヲ

年止千五百色豆の去り白九計

ヲ研ラミ喉中ニ吹入ニ塩梅ニ肉ヲ三合ヲ

結ニテ、生合モ性也。一方ニ針動

出即曉凡アサキ入也

上地合藥之味腫痛六牛中升

丁巳年

生薑二片今

物也

火藥之本也廣火人標巾應三火標

ノ事ヲ退ケテ其責ヲ樂サソノマ

白丸 研皂角 煮良 右等分細末

豆粒木下龜內二吸人三

七情所傷之氣上焦三焦中咽喉中

二物有平者下之タリ多ク吐下を不

卷之六

上焦熱、咽喉少腫、痛、云熱少

東亞通稱ノ内ニテ合稱ニ包テ




















食失婦青解人飲食事上上肥

其人學問上天下人謂三區無雙

道六郎并三座七律

榮路八續

三丁巳年十一月廿八日

此上三篇、**三才圖會**ニアル

岐陽野史

水穀之精者，謂飲食之精華也。飲食之精華，入於胃，而脾經運化之，以養全身。故脾經之病，則飲食不化，而水穀之精，不能入於胃，而脾經不能運化之，則全身之氣血，必受其影響。故脾經之病，則飲食不化，而水穀之精，不能入於胃，而脾經不能運化之，則全身之氣血，必受其影響。

此項不知野史云

卷之六

ヲ取ノ本源ヲ絶シ命根ヲ奪フ也猶
抱石入淵抱薪救火トレ哀哉

故三陰氣竭ニヲトロウレ時分四十歳ノ

後大繫腫物ハ生スル者ナリカ子テ

數年先ヨリ不時ニ數脉見レ出ル

水ヲホシカレ也

此類ノ人アラハ骨蒸ノ疾食ヲ戒メ

芳香ノ熱藥ヲ禁ン本運相ニ

陽熱退生地ニ涼血生血門六テ

指水瀉生煩渴奴持骨ニテ時々

宜除中焦ノ滯熱如此使治瘧疾

諸謂食飲ヲ熱ニ陽止脉平ニナリタ

ラハ瘧瘧ノ應ヲ應テ長壽ナルヘ

瘧疾ヲ瘧瘧ノ瘧瘧スレハ瘧ノ瘧瘧

リヌクニ小便黃ニ大便秘結ハ瘧瘧

湯内中丁大瘧連小惡大瘧中

牛少瘧中

瘧不救不瘧熱而瘧ハ瘧ノ瘧瘧也本

便時々瀉スレ瘧瘧キリト甚瘧力

ヘ表小瘧中並中瘧中瘧中瘧中

以上瘧瘧ノ二證ヲ須治之類此

上如瘧有レ嘔吐甚如瘧瘧手足

冷瘧ハ瘧瘧心中煩悶ハ瘧瘧瘧

瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧

利大如瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧

小頭瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧

瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧

瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧

瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧

瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧瘧

本乃傳工 及血世ハ加生地 東星
歸味世ハ加入研生薑

夫一切ノ腫物患痛ヲ治スニ忍冬ノ

葉最上ニ也スイカツクノツル葉ヲ

少ク取テ水多入煎其汁ニテ内服

ヲモ直ニ療治ノ中ノ湯茶ニモ用之

押藥ニ痛ヲヤメ散熱ニ用忍冬

ニ忍冬ノワカバヲミ取日ニホト粉

ヲ用也 ツレヨスルカタニハワスタク

ク飯アスイモノ草ノ汁ニテノベテ腫

物ノマワリニ付紙ヲアタニス腫物

ノ大小ヲ廣クアタル也是ハ忍冬ノ

妙藥ナルヲ記スルノミ外ノ療治

ハ外科ニイロスヘムツカレキニイ

類ニキリト疾キ 腫ニ對テ加リ緊

ナス必飲腫ント也 麴膏飲

地中細丁木小 麥射小

多服出テ痛止黃汁出テ腫消ナラ

細丁連細湯細 正牛小 芥中 水

小 莖中 芥中 食中

腫物患痛ヲ治スニ忍冬ノ

葉最上ニ也スイカツクノツル葉ヲ

少ク取テ水多入煎其汁ニテ内服

ヲモ直ニ療治ノ中ノ湯茶ニモ用之

押藥ニ痛ヲヤメ散熱ニ用忍冬

ニ忍冬ノワカバヲミ取日ニホト粉

ヲ用也 ツレヨスルカタニハワスタク

ク飯アスイモノ草ノ汁ニテノベテ腫

物ノマワリニ付紙ヲアタニス腫物

ノ大小ヲ廣クアタル也是ハ忍冬ノ

ノ株ヲ色感ノ葉ノ汁ニツキ合付
手足ハツビキヲシ腫痛ハハイラズ
ニ柱ニ是松傳也 五月八日
大人小兒ア不問耳ニ生瘡明九

大人小兒ア不問耳ニ生瘡明九
明建 輕々各細末ノ葉ヲ湯湯手

傳藥フニ子リカケシ

聖藥三輪ノ膏 生白丸 各研末ノ

洗瘡拭水付之以上九膏効アル妙

藥ノミヲ撰取ス與全九集其合可治

● 潮風門

夫潮病天地之間被物之威ヲ得ニ思

多六房勞ノ氣血動汗滯中邪風

軍風ノ邪氣ト相戰テ潮病生ス

分シ後身風ニアリ潮氣不得順行

終ニ瘰癧生ス

其瘰癧大耳瘰癧汁膏 麻 黃 膏 奴

松 茸 右對藥ノ雜皮ノ灰ヲ茶ニ

煎 花蛇ノ右細末ノ葉ニテ凡ノ月ノ瘰癧又

瘰癧ノ瘰癧汁ニ湯ニ浸下ス瘰癧白

テオ汁ニ方ニ湯風瘰癧瘰癧汁ニ

大 湯 瘰癧汁ニ 右細末ノ瘰癧ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ 瘰癧汁ニ

甚所ツ針刺出血ハシ或刺者ハシ

去血ハシ叔ハシ中ハシ生地ハシ大熱地ハシ

六ハシ牛ハシ王ハシ右細末ハシ要ハシ

下凡ハシ用之ハシ麻ハシ二ハシ物ハシ也

一方ハシ在ハシ地ハシ大ハシ卷ハシ右細

末ハシ入ハシ月ハシ也ハシ長ハシ少ハシ痛ハシ序ハシ下ハシ口ハシ

出時ハシノハシ藥ハシ也ハシ或ハシノハシ藥ハシ如ハシ形ハシ愈ハシ下ハシ後

ノハシ養ハシ生ハシ藥ハシ三ハシ最ハシ好ハシイハシカハシホハシモハシ久

服ハシノハシ性ハシ也

肝腎ハシ熱ハシ其ハシ六ハシ破ハシ應ハシ血ハシ弱ハシ經ハシ熱

汁ハシ煙ハシ蒜ハシ末ハシ陳ハシ芋ハシ地ハシ龍ハシ王ハシ右等分

刺ハシ直ハシ上ハシ水ハシ蛭ハシフハシイハシツハシ末ハシニハシタルハシヲハシサハシシ

道ハシ藥ハシニハシ合ハシキハシタハシテハシノハシセハシヨ

大治ハシ癰ハシ瘡ハシ在ハシ上ハシ下ハシ網ハシ分ハシ別ハシ症ハシ氣ハシ癰

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

上ハシ三ハシ步ハシ多ハシ癰ハシ瘡ハシ了ハシ大ハシ健ハシ血ハシヲハシ齒ハシ縫ハシ中ハシ

大風癩眉皆脫反膚疥瘡眼目枯痺
又云云毛眉一付モミタタキ去皮致
刺好酒一盞シモミクノ一盞ノ去皮致
汲水天目二盞ニテ毛眉ヲモミ洗フ
拍テコシテ去澤其汁ヲ土銀三ツ
チリツヌ膏トナシ若クモ五ツ烏蛇
一白蛇一二蛇トモ三四ニ夜浸
シ其膏取内日ニホシテ抹ヌ以上三
種ノ藥投テ前ノ毛眉膏ニテコチ
合極桐子ホトニ凡ノ三十粒ツ、芸
朮ノ煎汁ニテ送下ノ藥投物ノ煎
額ヲ食ス日ニ三服スヘシ三日後風
品三八チ汗ヲ出せ如此更藥ス所日
出計三日カ五日ハカリノ必食其膏
上ノ藥ニ投也

癰瘡ニアラテ小痔瘡瘻出ホノ難癒
湯洋フ能ホレヤ焼ケ細末ト銀酒
ニ調下ノ
癰風ノ人尿甚實ニノ大便秘結其色
前刺ノ尿大ニテ過半燒煉シ細末
舟取テ大膏ノ煎汁ニテ調下ヌ又
二味細末ヲ丸シ食前二湯ニテ堪
下ノ藥投也
大風ノ人ノ洗藥桑葉研碎白粉膏耳
葉研碎 右五種研氣燒テ存性
按ノ湯ニカキタラフアクニタテ顔面
ナ及腹癩所ヲ洗ベシ
一法ニ桑枝及ア膠湯ニテアクニタシ
面上サテ之 癰瘡ノ所ヲ洗ベシ

治此病者投傳授正月末二月三月

中經五ふかきんへりた萬物發

生ノ時十九候下諸病皆峰此ス

ル也此時カケトリ治スル藥ヲテ

七難病又愚者樂故三増長レタ

候三云也故三月ノ末ヨリウケ取テ治

スル術効驗アル者安治此病ニハ

第一禁物用要也房事鳥獸虫魚

偏氣酒醋鹽落後ノ風行後風

雲後ノ中雨濕波河野心坤乾枯

牛一宜深戒

●婦人門

夫治婦人病與男子同也ト云臣少

日凡心持アリ九百人男子九十九人

女一此病難治

婦人八九人凡ハ氣血經海ノ病者也

上古ノ聖賢深ク達此理治婦人之

病除氣散鬱專用也故子香附子ハ

是婦人ノ仙藥也ト能合得此理

治婦人諸疾也

或云事急スル解或ハ急事ノ急ニ

トモ建此事ナク或ハ緩急情急ノ

氣胸中ヨリ建上ノ經三氣流スル

ナレ知此情是日々月々ニカサナク

氣鬱ノ病者ト成也氣鬱結ノ不

通運行ノ經絡漸薄テ月經次第ニ

ホソクナリ或ハ白帶白濁トナクテ

或ハ黒ハ鹿膠旁泰トナレ也

然則婦人風寒是婦人外邪ノ卒病ハ

安治スル九與男子同ナレ也

七情内因ノ久病ヲ治セシニハ中陰ノ
散膏ノ藥劑ヲ加ヘシ

其ノ上男子ニキトヨノ膏月水ノ不
同春自尋下懷妊難産々後諸證
之類一二記ス

婦人常ニ頭額重ク眉用事急痛時
々ニ上氣シ胸中煩リ胸中ノ壅塞不
食ニ必氣鬱ノ病也兩寸脈洪弦

少左關微實ナル者也加棗瀉氣飲
芍大空申奴小紫申青小脉ニ動數
アス地申王加ヘシ脉ニ動數ナクノ

月水ホククハ行尾ヲサマ加ヘシ自汗
盜汗アタハ甚チ方桂ツ加ヘシ

時常熱ノ月レハタタ月經痛ハ獨収
身ノ熱ヲ抑フコト午後二時熱ヲ

止足空室中心胸煩上ノ熱ノ脉沉數ナ
ス生地入紫申六六五ホツ加フ

大便秘結セハ赤中拱ホ此類ノ調
赤申入不正脉洪數ナラハ赤方大芍

大拓チチチ右細末ノ用之ノ成ハ知
推也反直ナリ脉虛細ラノ無動數

ハ白芍也芍申研生桑細末ノコトス
コレ成ハ知也反直ナリ
白帶久不止或尿白濁リ尿中ニ赤ニ
自計有テ膿瀉ニ面也赤尿數
十ニハ紫申青申知也卷中
方中之前藥ヲ用テ時々拓大知
小方ナノ丸藥ヲ過下スヘシ
本内電下ノ藥無往來シ四版ホキ後

勞ヤウ貴キ 小コ 子シ 陰イン散サン對タイ氣キ地チ天テン行コウ

三ミ 指シ 遊ユ 寒カン 血ケツ 衝チウ 仕シ 脈マク 盛セイ 三サン 月ゲツ

水スイ 快タイ クク イイ ララ のノ 必ヒツ 氣キ 壯ソウ スス ヘヘ 俗ボク 醫イ ノ

云クモ ココ ノノ 經ケイ 血ケツ 虛キョ シシ タタ ルル 故コ ニニ 無ム 氣キ 云クモ

トト テテ 濕シツ 熱ネツ 潮チウ 補ボ ノノ 藥ヤク フフ 衆シュウ 用ユウ テテ 邪ジャ

熱ネツ 下ゲ 焦キウ 生セイ 或ワキ ハハ 上ジョウ 氣キ 或ワキ ハハ 胸キョウ 膈ガク 發ハツ 熱ネツ

上ジョウ 或ワキ ハハ 氣キ 或ワキ ハハ 胸キョウ 膈ガク 發ハツ 熱ネツ 上ジョウ 或ワキ ハハ 氣キ 或ワキ ハハ 胸キョウ 膈ガク 發ハツ 熱ネツ

本ホン 氣キ 陽ヤウ 下ゲ 寒カン 血ケツ 腹ブク 中チュウ ニニ カカ タタ ママ ルル 皆ミナ 是シ

皆ミナ 人ニン イイ トト ガガ 也ヤ 能ノウ ヲヲ 可コ 心シン 得トク

或ワキ ハハ 婦フ 人ニン 血ケツ 氣キ 調テウ 順ジュン 三サン 月ゲツ 本ホン 如ニ 恒コウ 肝カン 胃イ

壯ソウ 氣キ 飲イン 食シツ 能ノウ スス シシ テテ 懷クワイ 妊ニ 十ジュウ キキ ハ

或ワキ ハハ 胃イ 子シ ノノ 邪ジャ 氣キ 壯ソウ 元ゲン 氣キ 弱ジュク ノノ 房フウ 事ジ

フフ 寒カン 濕シツ 寒カン 交コウ 合カッ ノノ 精セイ 汁ジュ 虛キョ 薄ハク ニニ ノ

ココ ノノ トト ナナ ララ 也ヤ 是シ フフ ハハ 最サイ 一イチ 多タ 房フウ 事ジ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

胃イ 子シ ノノ 肝カン 胃イ フフ 飲イン 食シツ 日ニツ 進ジン 退タイ ハ

瘧疾之或加黑豆佳也若脾痛

甚者治之

懷妊ノ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

凡ハレ瘧疾

中膏小升

星石分三

最重ノ健康ニクダリト生シ

二愛衛生スル者三人ノ如シ不守也

胎上三三養育十月有身小兒白濁

青水小橋坊中門中若盛所出

細工入度ヲ知ヨ候基時多分出表

大西華小年

中本中地

耳

懷妊之或六熱者三日或六氣血不順三

打倒什二

腹中痛水腫大

大智小右司領了上三司下

人

タリ子ヲアタメ子ハウマレサルヲ

博學之經六常東魏阮／額不可用

群ノアリ虎ノ群（群ニテスル其方

ヲ專ニ用テ即本三肝ニテ六葉大

少尊三用テ加本口血虚ノ人ハ

地行小氣虛人八加赤小

オーストラリアのオーストラリア

子登天之上足平

其里懷世六佳ヲ知テ知照堪仕示知

之養生學也起於古如黃帝

食を以て

旅遊ノ要目

去歲冬月

藥中多是合子用之

胎立テ少仰キ腹中ツクワロク
レ子カヘリヤスナ正胎ニウレ也
レモ子カヘリセサル間ハ少モイキ
ズム(サス)子カヘリノ子ノツフリ産
門ニ進フヤ變モキニサハル時腰ツ
タキアゲテ一ビヤウレニヨクイキツ
ミセヨ如此少遲タハ催生藥ヲ與ヘヨ
若子カヘリセス先ニハヤクイキツメハ
胎内訖故ニ難産出来也腰腰久痛
ミ子カヘリツソタノ難産ナラ松皮
大冬交リ刺煎ノ用ヨ若早タイキ
ツミ破水多ク下テ子カヘリセス難産
ナラハ至リ百草霜石抹ノ等煎炭末
タテクセヨフエマクニ煎ノセ破水
ツリヤミ胎中レツカナラハ英大榆中
ニ味ヲ煎レ滑末(蜜母末)ニ味等分
一ネホト煎汁ニテカキタテクセテ
必生時ノ中ニ生ル也

既三難産ニ三日ヨコヒスソヨリヒ(アカ
巾)陰ヲ小腹冷テ胎血凝滞テク
デスス桂枝湯尾小桃中
右前ノ酒ヲ入煎服セヨ若手足冷
淫尿ナラハ少加附子 難産ノ神
藥大蛇蛻一條蟬蛻二兩ニ味焼テ
存性滑石末一兩 三味焼テ
末煎湯水ノ湯ニ調下ス
煎取ツキニノ辨テリ字生下即チ
置入(胎衣中)胎衣アタテアリヌ

産後血暈ハ腰膝痛シ心悶疼

痛不寧息スル者ハ難治又扶弱十

ル婦人盡力若精粹イキヲミテヲウ

ミヲトシテタタヒハテ重テ胎衣ヲ

イキシミヲロスベキ觀カサシ故ニ産門

ヨリ風フニキ胎衣ノタル道ノ血カ

ハキ故ニ故ニイキヲトモアリヌ也

故ニ子ヲミヲトシテハ一身イキヲ

少トセ少ヤスミテ産門ヨリ風ノ入ラヌ

様ニノ風ニ陽カ藥カラノミセテカヲ

付テ即イキヲセテヲロス也若胎衣

遲ノ腹脹ハ性大澤大澤附地各調

末ス大實ノ末二兩ヲ米醋三煎上煉

ツストカス多時ニ三味ノ藥ヲ入テ丸ノ

紅花一味ヲ煉煎ノミサニ酒中入

温服ス

難産ノ惡症

身重ク体熱ノミ体寒者下ノ節チ

青ク黒ノ舌ニクレ冷ルハ必死ス居

口月ク多痰沫ヲ吐ハ中焦絶ヒ米

痛盡タル証也子母俱ニ死ス舌

赤トモ面赤青ク頻ニ吐痰沫ヲ米

衝絶ノ胎氣衝上スル證也子ハ

生テ母死スヘシ面赤ク舌青ノ子

死胎中ニ胎治スル則ハ母ハ可治案

氣逆ノ面赤赤シハ也

難産ノ狀

胎多難ナラハ古實大強急ハ凶

中は散而大小不勻ハ由

難産ノ即養生ノ趣子生ハ下腹大

快下ノ小童便ヲ矢目ニ生ス

閉目閉坐ス即勿平臥暫ノ能居

ナリアリヲノキニ高ク物ニヨリセツキ

膝ヲタテヨシ足ヲ伸ヘカラスツハサ

マニヨリセハカラス頭ニツク物ツカ

ケテハヨリ風ノイラスヤリニス節々

軟ナレ物ニテ脚ヲ腹ヘサスリラロセ

如此處血ノ残ラタヤウニスルノ三日ス

熱眠スルノ不可又睡眠又則ニハツロ

くら世産以來三日ハ床大ニ睡ツカ

ケテ其カヲカセヨ或ハ于漆ヲアラ

クスチ香カニタイテカレニミ足

ハ床大ニ上テタテセヨ此ノ法也

四口ニミスマレ下脚白濁一味アヨキ

カニタハセ使込ニセヌサツ節々ク

ハセヨスエツコ子タル物不食

難産ノ三日ノ間ハ腹痛有トモ無ト

モ思起アカリテモアカラストモ童

サツ湯ヲ熱カニ交テクセヨ三五

日過チヨリサニソクタクハセヨ熱

塊ツハロカハヨセ日過テサカレホツカ

ツ用ヨ百日過テヨリ熱類ハ元ス

ハ産後三早タヲクハハ腫氣生

産ノ三日後身熱頭痛ノ胸中氣サ

レ痛ハ乳脈鬱行ノ謂也 芥 桔 中

煎ス非風寒ノ外邪不可治

一月ノ間ハ氣思ニ氣ヲ不

言

不可驚怖不可悲啼不可怒

速行動不可久坐惡寒生冷ノ藥

藥不可食雄雌ノ物ヲミナシキ物

カラ塩ヲ忌ム忌ム忌ム忌ム

忌不食四足ノモノヲ勿沐浴スル

以水不冷手足禁房事風キラス

禁操ヲス嫌妬思フナカレフカ揚

殺ツルハス願ミサレク井テ産門ニ

臥ビタリナカレ頭ニヤスヘカラス大ニ

飲ルヲ忌露ク飽満満酌スツラ

ナム以上須戒慎若此旨ヲソムキ

身体ニハリ口ニツム項スクニキツ

リ仰症ハ暴風ト名ク必死ス侵ス

時ハ微ニノ救ヲモトナレトモ病ト

ノ間ハ絶々慎ミテアナリ侵ノ多

死ス輕忽スルナカレ

產後ノ血暈トテ血アガリ臥暈ト失

氣ニノ謂アリハ血暈使有血氣

暈用テ生暈ニハ血暈下テ暈ス

ルアリ三患血ナニダリニ上テ攻

心下滿ニシテ滯リロスク暈

ス暈使日暈用テ暈世ハ參小

盾ナリ暈ニ方ハ參少

以暈服血暈下テ暈世ハ參少

生地黃ハ參少

神血ノ良思血暈上ノ暈ニ

ノ王ハ以上暈輪暈暈ハテノ暈

山產後ノ氣付藥長 諸黃散

各生神散 方在藥集門

諸黃 主用ハ破知能可動又老寒鴨

ノ風燒良也方ハ同

生後中風寒急血ハタト留リ惡寒發

熱ノ如燒盡ハカクノコトク其母ハ諸

言ルハ熱邪血ノ道ニ入タレ難也物ノ

タリニテラヌ衆 中 芍 中生地 大 芥

尾 參 小 玉 耳 小 湯 血 清 心 湯 上 大

產後二症ノ汁ヲ出ハ茲 中 木 小 門 中

生地 大 芥 小 槲 中 槲 右劉前ノ服之

若此皆タトススノ風ニ中ハツリス

タム痛ト成テ死ス

アロツ經シトモ不敗故ニ身痛時

車多難轉動手足頑テアツカイ

ニタツ身煩熱又外邪トナレニ木

可治獨 桂 小 木 膝 中 葛

小 芥 耳 少 紅 小 前服ス入衛生藥

產後ノ頭痛云是 中 葛 小 葛 中 芥

細 小 芥 小 地 小 中 木 小 青 小 芥

中 以上此内ア諸服盡寒傷ヲ減シ

用之 諸服ノ頭痛ヲ大ニ去テ大 是 中

芥 中 地 中 正 小 寒 皮 ノ 頭 痛

ナリ 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中

寒 皮 ノ 頭 痛 ナリ 芥 中 芥 中 芥 中

芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中

芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中

芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中

芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中

芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中 芥 中

咳嗽肺虛ノ患血外リ侵シハ
必飲ス參小苓中朮小杏小知小

藥ノ與ハコ

肺虛ノ皮膚弱ノ風寒ニ感シ咳セハ
必痰アルヘシ枯小欬小耳中門大
則小蒼白ツ入前ノ與ニ肺塞リ氣
實ノ脉ニ毛ナ有テ欬セハ桑小杏小西
中苓中實小竹葉大前小ノ食後ニ

藥之

產後ノ喘急患血ナリニ分テ
肺ヲ薰蒸ノ喘急スルハ胞衣ノ
所ニアル用赤命丹ヲ去惡血ヲ入
即其喘ヤム物也若感風寒ニ喘
促ス西中前中杏小蘇小苓中
トツ苓中ヲ去惡血ニ合氣結シ肺中

不快喘急ハ芎中黃小杏小杏小杏小
若肺壅ノ物ヲ食シ肺壅ヲ喘セハ
門大地小貝小葶小葶小葶小杏小

產後ニ患血多下テ榮血頭ニ竭中
藥タタナキニコ中獨中肺ニ要中
故ニ我強絶中ト中大事也赤
命丹ノ類發散降氣之藥不付
用速ク補中榮中ヲ自營中年事
老中レハ中地大桂小參小木中
草小

產後四肢浮腫患血未盡ニ五臟ニ
ト中レリ經絡ニ隨テ四肢ニナガレ
ツタフ故ニ面黃青ニ四肢浮腫セ
ム水腫トナシテ退赤藥ヲ用テ
引中去中藥ヲ用テ八產後ノ

子カニモ 糞和ニ下元ヲ温補ノ二
便ヲ常 留ルヲニ聞ヘシ

小児門

夫小児生下即 其 小 連 二 味 之 也

サシノノ七二聲モナカヌ先ニノマ

スレハ二世 無病ニナリゲナシ小疳

ニナリ一聲啼テ後ニノミスハ十

リゲ小瘡アシトモスナシ又ハ二

噴沫沫ノ水ニトキテ指ニテ口中ニ

早クスレハ其後ハ水ノ研タル

屎 少 蜜 ニトイテ口中ニスリノマ

セヨ一生痘疹ヲマカレ出シトモス

クナシ小児生下テ不得啼コトヲ

氣 續 不 得 死 難 産 ニモシテ氣 閉

ノ 兒 死 難 産 ノ 難 産 ノ 難 産 ノ 難 産

兒ヲ綿ニ裹テミソクヲトモシテ

胞衣ニキタル臍帶ノロヲヤクベ

シ火氣臍ヲ日服ニ入テ須臾ニ火氣

スグテイキゾル也然ノ湯ヲアビ

セテ臍帶ヲ斷ヘシ小児生テ七日

ノ内臍帶ノ斷口ヨリ風濕イリ侵

入 疳 疳 疳 疳 疳 疳 疳 疳 疳 疳

トハ兒ノ齒 齦 ニアハツタムコトク白

物イデキ 而赤ク瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡

ガルヲ云ナリ 軟ナリナリ 綿ニテ指

ツ包ニスル湯ニシメレハクキノアタ

マクシトスリヤアルヘシ白瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡

アリタル處ニ付ヨリ 七日ノ間 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡

ヨリ風イラヌヤウニ用心ニ尿ニシ

レ

子冷タルハツキノ上ニ子サセテ臍口

リ張氣ノ入ヲ阻ニシ

ハ乳ニ乳ヲムスルニハリツカヘタル

ヲ先サフトモホリヨホメサテノムス

ハ乳母衣子イラハ乳頭ヲヒキハ

ナノ子イヒサナケレハ飽滿ノム子ニ

ツカヘテス物也二三歳ニテ

モ乳ノニセテ即クメサセ食物ヲ

與ニテ即乳ノメスヘカラス脾胃腹

弱ナルニ乳ト食物トヲ合テ一度

ニツメハ難故ニ或ハ腹痛起

ハ非トナリ癰積トナル者大コ

リ始ル也

小兒ノ驚風ニ二ノ分別アリ急驚風

風ト云ハ急生タル驚風ト云ハ慢

成則生風此時大驚フキ、食

サレタキ、或テ急驚風々風ト成也

頭蓋タロタラズ足厥冷手足ヲ搥

搥ノ物ヲサテ宅トノ如シ又發ル

時ハ身熱ト面赤ヲ煩渴ト是也

ツメ便黃ニ赤タ目赤ニテ子イラス

驚風ニ極并其ノ云乳積也

右様ノ急驚風ニテノ竹葉湯ヲ化

下ス名驚風丸 一方三錢

輕一錢 常生

子乳ノ驚風ニテノメスル也 乳

食ノ後ニ生也

風ト云ハ飲食不節ニヨリ

傷脾胃ヲ吐瀉ニシテ中焦ノ氣

某處ノ手足搐搦ト面黃ニク

是後發ノ証也麻也虎也

三種痘疹本性則赤紅少ツハヒキ

リニアル湯ニテノミセヨ膿所ニテ少

小兒瘰癧虎口ノ紋ヲ男ハ七女ハ五

指ノハラヲ見ヘシア節ノハラヲ

ト云キノ無ハ无病也スキアルハカ

ル年病也ニアノレノハラヲ氣閉ト云

ハ十有八病甚也藥治スヘシ三ノ

アレハハラヲ令開ト云キノ有也

病重ト多ク不治小兒自一歳至三

歳嬰孩ト云其間ハ宜瘰癧虎口ノ

三開ヲ七八歳ヲ虎口トイフ九歳

才歳ヲ嬰孩ト云其間ハ醫師ノ一

醫師ノ一ノ間ニ七八至ツ平トス

自十二歳至十四歳稱童子一息

ノ間ニ五六至ツ平トス瘰癧虎口ス

生第一ノ節ニ諸也ノ筋ヤルハ

諸驚ノ候トス第二ノ節ニスチ

アルハ九疳證ノ筋也此等ハ瘰癧

癰毒ハ肝癰白ハ肺癰黄ハ脾癰

赤ハ心癰黒ハ為腎癰第三ノ

節ニ青黒ノ紋アルハ三開ヲレ

トアリ料ニカニ入ヘ不治

夫小兒ノ癰病生スルハ乳母ノ不潔

ノ故也脾胃ノ弱ハ又ク吐瀉ヲ患

テ醫師客ニ瘰癧ノ瘰癧中ニ生

或ハ瘰癧中ニ生三醫師客ニ

瘰癧中ニ生三醫師客ニ

瘰癧中ニ生三醫師客ニ

口鼻 藥ハ同千澤海産ニ補其
腎也腎毒 經日瘦身ニ瘡疥出

藥ハ同其肝毒

石諸丹之類

連胡黃連青槐木犀能養我 鶴

馬史君 根本香柏實槐枝葉肉 蟬

食 白木 食養以上此丹并同

其證ニ相當六七味抹凡ノ與ノ并

也ア治也 藥馬地香六甘

藥細枯花耳王を林實 冬五月

本者藥乃内 以下此肉ヲ解

其證々々ニ相當ノ藥六七味煎ノ

與ノ煎熱ヲバソ白く 退之津液并

燒其漸ニ寒此津液ノ生スル様ニ

可謂之也

怯弱ナラハ參朮水ノ類ニ補之

一方ニ換核我青槐葉當在湯

經 石九種等分ニ細末し醋糊

ニテ丸ニ生 送下此類ノ

治痔恒細ノ藥ヲハ生煎ニ用也消

食生津潤家ノ補劑ノ湯散食

後ニ少々用之

小兒痘疹之患ハ母胎ニテル時胞中

熱ニテ其中心ニツクマシ生ナル

時口中ニ所含ムノ膿血即治膿

吸ニ隨テ腹中ニツサニリ下積ニカ

クシテアル也或ハ歲久大癰ニシ熱

毒盛ニアリサル 時痘毒モバサ

レテ發起スル也心肝脾肺ノ四臟ニ

出テ腎ニ痘毒ノ留滯セヌハヨシ

諸病毒之藥劑辨別ノ後、其用

可謂甚下、即ハ六苓或木末、余生

熟之類也、此ハ八國若井、惟本自為

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

其來作便藥ニ門、故指其施、丁、

與之馬齒見ツスヲ子猪ノ子ヲ生
塞トツテ合テ腫痛消ニスルヘト生

愈也

小兒ノ夜啼

大十十四日服一守二種要子
啼脫 此其二三也

四時ニテマツテノミセヨ服痛テ夜啼

玉正ハ茂 小茸 小芥 小布 中木 小細

末レ乳頭ニ付テマツテヨ 小兒及四五

歳ニ古本ニハカ子テ不食ヨ六 小

兒ノ門 中 小 有 乳 小 履 小 桂 小

以上各細末ノ連安ニテ九レ水飲ニテ

ノミセヨ 小兒三四五歳ニ至レテ不

食ハ血氣缺ツテ骨體不充也

胃 地 大 桂 小 膠 小 玉 正 大 人 藥

小兒生ニテ即物ニマツテマツラスノ

不調也 小 指 中 芥 小 茸 小 地

大 白 芍 小 附 地 右細末レ塩湯ニ

中マツテノミセヨ又抹藥ニ塩ヲ合テ

服ニカシニスルニト

小兒生ニテ即物ニマツテマツラスノ

不調也 小 指 中 芥 小 茸 小 地

大 白 芍 小 附 地 右細末レ塩湯ニ

中マツテノミセヨ又抹藥ニ塩ヲ合テ

服ニカシニスルニト

小兒生ニテ即物ニマツテマツラスノ

不調也 小 指 中 芥 小 茸 小 地

大 白 芍 小 附 地 右細末レ塩湯ニ

中マツテノミセヨ又抹藥ニ塩ヲ合テ

服ニカシニスルニト

小兒ノ頭痛ニ井大イテ合サスルハ

症ノ脈弱不足ニ止留也 煎地天 山

名細林し安ニテ丸じ蟻湯ニテ服之
謂之解顧ト地じ各天南星ノ味ヲ
米醋ニト1丁焼ミロケテアリタメノ
テ頭縫ミテ、ワケ白頭縫ヨクアハセ
テ其兒長父也

神皇聖功方卷下畢 一漢書卷三

御調合所 法橋吉野五郎

卷之四

HO 17